

64 回生学年だより「WITH」

～ 共に学び、共に支え合い、共に感動する学年 ～

「勝者と敗者」

学年所属

- ① 勝者は間違ったときには「私が間違っていた」と言う。
敗者は「私のせいではない」と言う。
- ② 勝者は勝因を「運がよかった」と言う。例え運ではなかったとしても。
敗者は敗因を「運が悪かった」と言う。
- ③ 勝者は敗者よりも勤勉に働く。しかも時間は敗者よりも多い。
敗者はいつでも忙しい。文句を言うのに忙しい。
- ④ 勝者は問題を真っ直ぐ通り抜ける。
敗者は問題の周りをぐるぐる回る。
- ⑤ 勝者は償いによって謝意を示す。
敗者は謝罪をするが同じ間違いを繰り返す。
- ⑥ 勝者は戦うべきところと妥協すべきところを心得ている。
敗者は妥協すべきでないところで妥協し、戦う価値がないところで戦う。
- ⑦ 勝者は「自分はまだまだです」と言う。
敗者は自分より劣るものを見下す。
- ⑧ 勝者は自分より勝るものに敬意を払い、学び取ろうとする。
敗者は自分より勝るものを不快に思い、アラ捜しをする。
- ⑨ 勝者は「もっと良い方法があるはずだ」と言う。
敗者は「何故変える必要があるんだ？今までうまくいっていたじゃないか」と言う。
- ⑩ 勝者は下を向くべきときに上を向く。
敗者は上を向くべきときに下を向く。

この【勝者と敗者】を見たとき、自分をあてはめました。自分はどうかろう、と。すべてに対して勝者になることは大人でもほとんどの人ができないものです。ただ、この10個の項目を読んで、自分をあてはめたときに、先生は自分以外の職場の先生や、地元の友達のことを思い出しました。〇〇先生は下を向くべきときに上を向く先生だな。

3月は、別れの時期で寂しいこともありますが、これから新しい出会いが待っています。新しいクラス、新しい先生など新たな環境になります。【勝者と敗者】を見て、思い出した人がいたら、環境が変わっても近くに居続けることができればいいですね。
よい3月を送ってください。

性教育デリバリー授業

2月10日（金）に、講師として兵庫医科大学の片田千尋先生をお招きして、性教育デリバリー授業を実施しました。「生命の誕生」や「第二次性徴」について、時には生徒への質問を交えながらわかりやすくご講演いただきました。

以下に、生徒たちの感想を紹介します。

1 組

赤ちゃんの泣き声を聞いてすごく尊いなーと思った。赤ちゃんが生まれる様子を見て、想像するだけでも痛そうだった。受精卵ができるのは本当に難しく、尊いことなんだと思った。性は女や男だけでなく、いろんな姿、形があるので、理解し、温かい気持ちでいるべきだと思った。いろんなことを知り、もっと大人になってから愛する人と子どもを作りたいと思った。

おなかの中で赤ちゃんができたばかりの時、かめ、とり、ひとがどれかわからなくてこんなにも似ている姿をしているんだなと思いました。あかちゃんが生まれるまでに陣痛が来たら10時間もかかることを初めて知った。自分は自然分娩だったけど、妹が帝王切開だったからお母さんにいろんなことを聞こうと思いました。Facebook に58種類も性別の選択欄があることにびっくりしました。多様な社会になっていることがすごく嬉しいです。

写真や先生の話を知ると、一人ひとりとは70兆分の1で生まれてくれて「ありがとう」と伝えられているんだなと思いました。一人ひとりとはとても大事なのだから、お母さんやお父さんに感謝を伝えたいです。毎日会っている友達、地域の人、学校の先生などの人も70兆分の1だから全員違う個性を持っています。その個性を認めみんなを大切にしたいと思います。



2 組

赤ちゃんは生まれてくることが奇跡で、かけがえのない命なんだなと思いました。弟が生まれたときに、実際に立ち会ったことがあります。泣き声を聞いたときには、感動で胸がいっぱいになったのをずっと覚えています。その時にお世話になった助産師さんがずっと印象に残っていて、今の私の将来の夢の1つにもなっています。今回実際に助産師さんの話を聞いて勉強になったことがたくさんありました。本当にありがとうございました。

自分はこうやって生まれて、さらにお母さんが頑張ってくれたということを知って、ありがたいと思いました。少し今は思春期による心の変化で反抗してしまうことがあるのですが、誰でもあることなのだなと感じてなんだかほっとしました。

フェイスブックの性別の話で、アメリカ版で58種類もあることにびっくりしました。それにアメリカ版だけじゃなくて、他のフェイスブックにも性別を自由にできるようになったらいいなと思いました。話を聞いていると、自分もそうだなと思えるところが多くて、ちゃんと成長できているんだなって思いました。分かり合える友達ともっと仲良くして、これから先もずっと仲良くできたらいいなと思いました。助産師さんってすごいなと思いました。

3 組

自分と同じ人間なんて存在なくて、無事に元気に生まれることができたのは本当に奇跡みたいなことなんだなと思いました。それに、お父さんとお母さんの1mmにも満たない細胞から人間ができるのもすごいと思ったし、受精してある程度の時間がたつまでは鳥も人間もカメもほとんど形が同じだと知って驚きました。

私たちが生まれてきたのはとても素晴らしいことだから、この命を大切にしようと思いました。中にはあまり健康に生まれてこなかった子とか、生まれてもなくなってしまう子とかもいるので、その子たちの分も私は精一杯生きようと思います。あと今は思春期で大切な時だから、体調管理をしっかりとって健康に過ごせるようにしたいです。

今日助産師さんのお話を聞いて、今まで考えたこともない話を聞いたので勉強になりました。同じDNAを持った子供は70兆人に一人ということに一番びっくりしました。なので今考えると人ってみんな一緒だと思ったら一人一人特別で「大切」なんだなと思いました。これからも自分のこと友達のことみんなのことを大切にしたいと改めて感じました。

4 組

70兆分の1の確率で自分が生まれているということが、すごい奇跡だなと思いました。もう一度、お母さんに感謝をしっかりと伝えたいと思いました。

性別のことで悩んでいる人はたくさんいることがわかったし、性の大切さや生命の大切さもわかってよかったです。これからどんどん成長していくうえで、悩み事などが増えてくると思うので、その時はいろんな人に相談していいんだなと感じました。これからいろいろな体験などもあると思うので、その時は今日のお話を思い出して、解決していければなと思います。

今日のお話はどれも大切なことなので、忘れず記憶に残しておくようにしたいです。

私はDNAとか遺伝の話が特に印象に残りました。なぜなら私は、少しは家で話を聞いていたことはありましたが、あまり詳しくは知らなかったので、親指が反るか反らないかとか、耳たぶが大きい小さいかとかの特徴があるとかを知れて、よかったです。あと、表に出る遺伝子と出ない遺伝子があって、それで違ってくるのかも不思議で面白いつくりだなと思いました。

昔、ハチの性別の決まり方みたいなのを見ましたが、それに何となく似ているなと思いました。

